

9

ネットワーク環境の設定 について

9.1	Windows®ネットワーク(SMB)環境での設定について	252
9.1.1	SMBの設定の流れ	252
9.1.2	SMBの設定の変更	255
9.1.3	プリンタードライバーの自動ダウンロード	259
9.2	NetWare®環境での設定について	260
9.3	UNIX環境での設定について	263
9.4	インターネット印刷での設定について	264
9.4.1	インターネット印刷の設定の流れ	264
9.4.2	プリンター側の設定	265
9.5	共有プリンターの設定について	267

9.1 Windows®ネットワーク(SMB)環境 での設定について

ここでは、本機をWindows®ネットワーク(SMB)環境で使用するための設定の流れと、設定の変更、プリンタードライバーの自動ダウンロードについて説明します。

参照

Windows®ネットワーク(SMB)の環境については、「1.1 使用できる環境について」(P.2)を参照してください。

9.1.1 SMBの設定の流れ

Windows®ネットワーク(SMB)環境に、プリンターを設定する場合の設定手順と、その他の設定項目について説明します。

… 設定の流れ

Windows®ネットワーク(SMB)環境に、プリンターを設定する手順は次のとおりです。

設定手順

① プリンター側のポートと、トランスポートプロトコルの設定をします。

NetBEUIを使用する場合

操作パネルで、SMBインターフェイス用のポートを【キドウ】工場出荷時:起動)に、トランスポートプロトコルを【NetBEUI】、または【TCP/IP,NetBEUI】(工場出荷時:TCP/IP,NetBEUI)に設定します。

補足

- NetBEUIを使用するときは、クライアントに「NetBEUI」がインストールされていることを確認してください。
- この設定は、「CentreWare Internet Services」でもできます。「CentreWare Internet Services」については、「5.1 クライアントからプリンターの設定をする(CentreWare Internet Services)」(P.110)を参照してください。

参照

「1.5.3 SMBのポート、プロトコルを起動する」(P.17)を参照してください。

TCP/IPを使用する場合

操作パネルで、SMBインターフェイス用のポートを【キドウ】工場出荷時:起動)に、トランスポートプロトコルを【TCP/IP】、または【TCP/IP,NetBEUI】(工場出荷時:TCP/IP,NetBEUI)に設定します。

補足

- TCP/IPを使用する場合は、クライアント側、プリンター側ともにIPアドレスが必要です。
- この設定は、「CentreWare Internet Services」でもできます。「CentreWare Internet Services」については、「5.1 クライアントからプリンターの設定をする(CentreWare Internet Services)」(P.110)を参照してください。

参照

「1.5.3 SMBのポート、プロトコルを起動する」(P.17)を参照してください。

② プリンター名やワークグループ名などを変更します。

必要に応じて、SMBの設定ファイル「config.txt」を書き換え、プリンター名やワークグループ名などを変更します。設定はクライアント側から行います。

参照

「9.1.2 SMBの設定の変更」(P.255)を参照してください。

補足

この設定は、「CentreWare Internet Services」でもできます。「CentreWare Internet Services」については、「5.1 クライアントからプリンターの設定をする(CentreWare Internet Services)」(P.110)を参照してください。

③ プリンタードライバーを、クライアントにインストールします。**参照**

- 「2.2.2 SMBを使用して印刷する場合」(P.32)を参照してください。
- 本機からプリンタードライバーを自動ダウンロードすることもできます。詳細については、「9.1.3 プリンタードライバーの自動ダウンロード」(P.259)を参照してください。

●●● その他の設定項目について

必要に応じて、以下の項目も設定してください。ただし、これらの項目は、通常の使用では工場出荷時の設定を変更する必要はありません。

- SMBのプリントモード指定 (工場出荷時:【ジドウ】)
- SMBのJCL (工場出荷時:【ユウコウ】)
- SMBのTBCPフィルター (工場出荷時:【ムコウ】)
- SMBの受信バッファ容量 (工場出荷時:【スプールシナイ/256K】)

補足

TBCPフィルターは、オプションのPostScript®ソフトウェアキット装着時にだけ設定できます。

参照

設定項目の詳細は、「第8章 共通メニューの設定」(P.223)を参照してください。

補足

SMBの受信バッファ容量の設定は変更できます。詳細については、「8.2 共通メニューの設定を変更する」(P.228)を参照してください。

「CentreWare Internet Services」を使用すると、さらに以下の項目が設定できます。

- ワークグループ名 (工場出荷時: WORKGROUP)
- ホスト名
- 管理者名 (工場出荷時: ADMIN)
- 管理者パスワード (工場出荷時: ADMIN)
- 最大セッション数 (工場出荷時: 5)
- TBCPフィルター (工場出荷時: OFF)
- 自動ドライバーロード (工場出荷時: 有効)
- Unicodeサポート (工場出荷時: 無効)
- 自動マスターモード (工場出荷時: する)
- パスワード暗号化 (工場出荷時: する)

参照

「CentreWare Internet Services」の操作については、「5.1 クライアントからプリンターの設定をする(CentreWare Internet Services)」(P.110)を参照してください。

補足

TBCPフィルターは、オプションのPostScript®ソフトウェアキット装着時にだけ設定できます。

9.1.2 SMBの設定の変更

SMBのプリンター名や、ワークグループ名などを、必要に応じて変更できます。ただし、SMBのプリンター名やワークグループ名は、プリンターの操作パネルでは設定できません。「CentreWare Internet Services」、またはWindows®クライアントから変更します。ここでは、Windows®クライアントから変更する手順を説明します。

参照

「CentreWare Internet Services」で変更する場合は、「5.1 クライアントからプリンターの設定をする(CentreWare Internet Services)」(P.110)を参照してください。

●●● Windows®ネットワーク経由の変更方法

クライアント側から、Windows®ネットワーク経由で本機上のファイルにアクセスして情報を書き換えることで、SMBの設定を変更できます。ただし、この操作ができるのは管理者だけです。

以下に、設定ファイル「config.txt」をはじめ書き換えるときの操作方法を説明します。2度め以降の手順では、すでに設定してあるSMBのプリンター名、ワークグループ名、管理者名、管理者パスワードが必要になります。

補足

「config.txt」には、管理者名に「ADMIN」、パスワードに「ADMIN」が、工場出荷時の値として登録されています。

操作手順

- ① Windows®クライアント上で、[ネットワークコンピュータ] [プリンター]が所属するワークグループ(工場出荷時は「WORKGROUP」)、[本機]の順に開きます。

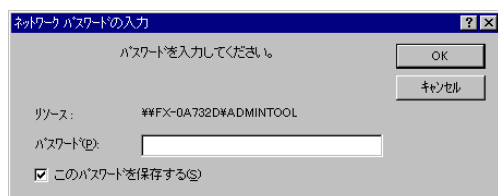
補足

本機の工場出荷時のホスト名は、「FX-xxxxxx (xxxxxx: プリンターのEthernetアドレスの下位6桁)」です。「機能設定リスト」の「SMB」の「ホスト名」で確認できます。

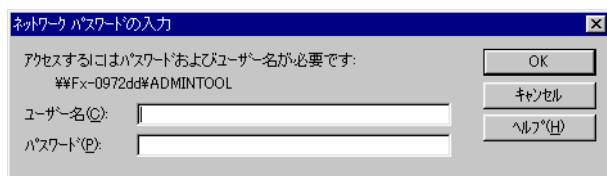
- ② 「Admintool」フォルダーをダブルクリックします。

以下のようなダイアログボックスが表示されます。

- Windows® 95、Windows® 98、Windows® Meの場合



• Windows NT® 4.0、Windows® 2000の場合



- ③ Windows® 95、Windows® 98、Windows® Meの場合はパスワード(SMB管理者パスワード)だけ、Windows NT® 4.0、Windows® 2000の場合はユーザー名(SMB管理者名)とパスワード(SMB管理者パスワード)を入力して、[OK]をクリックします。

「Admintool」フォルダーが開きます。



補足

工場出荷時には、管理者名に「ADMIN」、パスワード「ADMIN」が登録されています。

- ④ メモ帳などのテキストエディターを使用して、「config.txt」を開きます。
- ⑤ 必要に応じて、ワークグループ名とホスト名などを変更し、「config.txt」を上書き保存して、閉じます。
- 「message.txt」が、「Admintool」フォルダー内に作成されます。

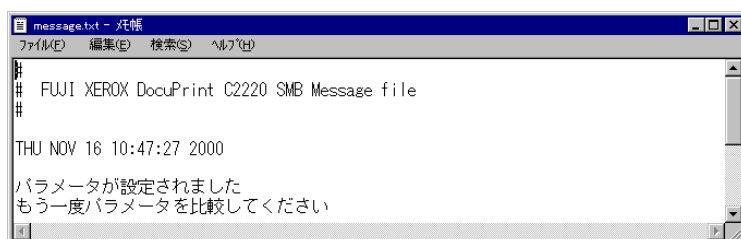
補足

- ワークグループ名、ホスト名は、最大15バイト設定できます。
- 「config.txt」の詳細は、後述の「config.txtの設定形式」(P.257)を参照してください。

- ⑥ 「message.txt」を開いて、以下のように表示されていることを確認します。

補足

「message.txt」が表示されていない場合は、[表示]メニューの「最新の情報に更新」を選択してください。エラーメッセージが表示されている場合には、再設定をした内容の範囲などを確認してください。



- ⑦ 「message.txt」を閉じます。
- ⑧ プリンターの電源スイッチを切り、5秒以上待ってから電源を入れ直します。

●●● config.txtの設定形式

設定項目	説明	設定値	初期値
PrinterLanguage	使用する言語を設定します。	JAPANESE/ ENGLISH	JAPANESE
ホスト名	プリンターのホスト名を設定します。	最大15バイト	FX- xxxxxx (xxxxxx : プリン ターのMAC アドレス 下位6桁)
ワークグループ名	プリンターが属するワークグループ名を設定します。	最大15バイト	WORKGROUP
NETBEUI	NetBEUIプロトコル起動の設定です。	ON/OFF	ON
TCP/IP	TCP/IPプロトコル起動の設定です。	ON/OFF	ON
スプール	スプール機能の起動設定です。 ハードディスク、メモリー、ノンスプールから選択できます。 ハードディスクを選択した場合、ハードディスクが認識できないときは、ノンスプールになります。	DISK/MEMORY/ OFF	OFF
最大スプールサイズ	スプールモード時の最大受信容量を設定します。256kbyte単位で設定できます。	512 ~ 32768 (単位はkbyte)	1024Kbyte
最大受信サイズ	ノンスプールモード時の最大受信容量を設定します。32Kbyte単位で設定できます。	64 ~ 1024 (単位はkbyte)	256Kbyte
自動ドライバロード	プリンタードライバーの自動ダウンロードの起動設定です。	ON/OFF	HDDありON HDDなしOFF
JCL	JCLの起動設定です。	ON/OFF	ON
プリントモード	プリント言語を設定します。PS、ART EX、HP-GL2、ダンプモード、自動切り替えから選択できます。	PS/ART EX/HP-GL2/ DUMP/AUTO (オプションの装着 状態による)	AUTO
自動マスタモード	自動ブラウズマスタ機能の起動設定です。	ON/OFF	ON
パスワード暗号化	パスワード暗号化機能の起動設定です。	ON/OFF	ON
タイムゾーン	タイムゾーンを分単位で設定します。	-720 ~ 720 (単位は分)	540分 (日本)

設定項目	説明	設定値	初期値
最大コネクション数	プリンターの最大コネクション数です。	3 ~ 10	5
ユニコード	ローカルコード(シフトJIS)を使用するかどうかを設定します。 INVALID=シフトJISです。	INVALID/VALID	INVALID
DHCP	DHCP起動の設定です。	ON/OFF	OFF
WINS DHCP解決	WINS DHCP解決起動の設定です。	ON/OFF	OFF
IPアドレス	IPアドレスを設定します。 (DHCPが起動されているときだけ変更できます)		0.0.0.0
サブネットマスク	サブネットマスクを設定します。 (DHCPが起動されているときだけ変更できます)		0.0.0.0
ゲートウェイ	ゲートウェイアドレスを設定します。 (DHCPが起動されているときだけ変更できます)		0.0.0.0
WINS 1stサーバ	WINS 1stサーバを設定します。		0.0.0.0
WINS 2stサーバ	WINS 2stサーバを設定します。		0.0.0.0
管理者名	管理者名です。	最大20バイトまで	ADMIN
パスワード	管理者のパスワードです。現在の設定は表示されません。	最大14バイトまで	admin
設置場所	設定フロアなど、本機の設置されている場所についてコメントを記入します。	最大48バイト	(なし)
リポート	ONに設定すると、パラメーター設定ファイル「config.txt」の編集作業の終了後にプリンターがリセットされます。起動時は常にOFFです。ただし、設定に誤りがある場合は、ONでもプリンターがリセットされません。	ON/OFF	OFF

●●● config.txtの例

```

#
# FUJI XEROX DocuPrint C2220 SMB config file
#
Printer Language      : JAPANESE          : JAPANESE/ENGLISH (*)
ホスト名              : FX-0A732D         : 最大15バイト (*)
ワークグループ名     : WORKGROUP        : 最大15バイト (*)
NETBEUI              : ON                : ON or OFF (*)
TCP/IP               : ON                : ON or OFF (*)
スプール             : DISK              : DISK/MEMORY/OFF (*)
最大スプールサイズ   : 1024             : MEMORYスプールのみ有効 (512~32768Kbyte) (*)
最大受信サイズ       : 256             : スプールOFFのみ有効 (64~1024Kbyte) (*)
自動ドライバロード   : ON                : ON or OFF
JCL                  : ON                : ON or OFF
プリント モード     : AUTO             : AUTO/ART EX/
自動マスタモード     : ON                : ON or OFF (*)
パスワード暗号化     : ON                : ON or OFF (*)
タイムゾーン        : 540              : 日本(540)/英国(0)/ハワイ(-600) (min)
最大コネクション数  : 5                : 最小 3 最大 10 (*)
ユニコード          : INVALID          : INVALID(シフトJIS)/VALID (*)
DHCP                  : OFF              : ON or OFF (*)
WINS DHCP 解決      : OFF              : ON or OFF (*)
IPアドレス          : 129.249.242.181 : ex 128.0.0.1 (*) (-)
サブネットマスク     : 255.255.255.0   : ex 255.255.255.0 (*) (-)
ゲートウェイ        : 129.249.242.254 : ex 128.0.0.1 (*) (-)
WINS 1st サーバ     : 0.0.0.0          : ex 128.0.0.1 (*) (-)
WINS 2nd サーバ     : 0.0.0.0          : ex 128.0.0.1 (*) (-)
管理者名            : ADMIN            : 最大20バイト (*)
パスワード          :                  : 管理者パスワード最大14バイト (*)
設置場所            :                  : 最大48バイト (*)
レポート            : OFF              : ON or OFF

(*)再起動後有効
(-)DHCP起動設定時は設定無効

(*)項目を変更後レポートせずに他のツールで設定すると値が正しく
反映されない場合がありますのでみやかにレポートして下さい。

```

9.1.3 プリンタードライバの自動ダウンロード

Windows® 95、Windows® 98、またはWindows® Meのクライアントにプリンタードライバをインストールするときに、自動ダウンロードができるように設定できます。

補足

- Windows NT® 4.0、Windows® 2000の場合、自動ダウンロードができません。
- 自動ダウンロードには、オプションの内蔵増設ハードディスク装置が必要です。

参照

設定手順については、CentreWareのCD-ROMに入っている電子マニュアルをごらんください。

ここでは、本機をNovell社製NetWare®のネットワークに接続した場合の動作環境と、設定手順について説明します。



NetWare®の環境については、「1.1 使用できる環境について」(P.2)を参照してください。

●● コンピューター環境

NetWare®ネットワークを使用して印刷する場合の環境は、次のとおりです。

- 適応するファイルサーバー
 - Novell NetWare® 3.12J/3.2J/4.11J/4.2/5/5.1
- 適応するクライアントOS
 - Microsoft® Windows® 95 Operating System日本語版*
 - *Service Pack 1以上、またはMicrosoft Internet Explorer4.0以上が必要です。
 - Microsoft® Windows® 98 Operating System日本語版
 - Microsoft® Windows® Me Operating System日本語版
 - Microsoft® Windows NT® Workstation 4.0日本語版(Service Pack 4以上)
 - Microsoft® Windows® 2000 Professional日本語版(Service Pack 1以上)
- 適応するNetWareクライアント
 - <Windows® 95、Windows® 98の場合>
 - ・Novell Client for Windows® 95、Windows® 98 ver3.1、ver3.21
 - ・NetWareネットワーククライアント
 - <Windows NT® 4.0の場合>
 - ・Novell Client for Windows NT® 4.0 ver4.6
 - ・Novell Client for Windows NT/2000 ver4.71
 - <Windows® 2000の場合>
 - ・Novell Client for Windows NT/2000 ver4.71
 - <Windows® Meの場合>
 - ・Microsoft Netware Client

●● インターフェイス

サポートするフレームタイプは、次のとおりです。

- Ethernet 仕様
- IEEE802.3仕様
- IEEE802.3/802.2仕様
- IEEE802.3/802.2/SNAP仕様

IPX/SPXの場合、本機は、接続されているネットワーク上に各フレームタイプのパケットを送出し、最初に応答したフレームタイプで自動的に起動します。(工場出荷時の場合)

ただし、同一ネットワーク上にほかのプロトコルが同時に存在する場合は、Ethernet を使用してください。
TCP/IPの場合、自動的にEthernet が起動します。

補足

ネットワーク構成機器(HUBなど)が、フレームタイプの自動設定に適合していない場合があります。ネットワーク構成機器の、本機が接続されたポートのデータリンクランプが点灯しない場合は、本機のフレームタイプの設定(IPX/SPX設定)を、 NetWareサーバーのフレームタイプに合わせてください。設定方法については、「第8章 共通メニューの設定」(P.223)を参照してください。

●●● 設定の流れ

本機をNetWare®の環境に接続する設定手順は次のとおりです。

設定手順

- ① 「6.3 レポート/リストを印刷する」(P.149)を参照して、機能設定リストを印刷します。
「機能設定リスト」で、ネットワークアドレスと、装置名を確認してください。
- ② CentreWareからNetWareのプリンターを検索するために、NetWareで使用するトランスポートプロトコルと同じSNMPのトランスポートプロトコルを起動します。
- ③ CentreWareドライバー&ネットワークユーティリティのCD-ROMを使用して本機を設定します。

CentreWareドライバー&ネットワークユーティリティのCD-ROMを使用すると、あらかじめ本機側でNetWareポートを「起動」に設定しておく必要はありません。

参照

CentreWareのCD-ROMに入っている電子マニュアルをごらんください。

補足

- ファイルサーバーの設定は、「PCONSOLE」または「NWADMIN」でもできます。詳しくは、NetWare®に付属のマニュアルを参照してください。
- プリンターの設定は、「CentreWare Internet Services」でもできます。詳細については、「●●● その他の設定項目について」(P.262)を参照してください。

- ④ プリンタードライバーをインストールします。

本機に対応したプリンタードライバーを、コンピューターにインストールします。プリンタードライバーは、使用するOSによって異なります。

参照

「第2章 プリンタードライバーのインストール」(P.23)を参照してください。

●●● その他の設定項目について

必要に応じて、以下の項目も設定してください。ただし、これらの項目は、通常の使用では工場出荷時の設定を変更する必要はありません。

- プリントモード指定 (工場出荷時:【自動切り替え】)
- JCLスイッチ (工場出荷時:【有効】)
- NetWare受信バッファ (工場出荷時:【256KB】)
- トランスポートプロトコル (工場出荷時:【TCP/IP、IPX/SPX】)
- NetWareの受信バッファ (工場出荷時:【256K】)

参照

設定項目の詳細は、「第8章 共通メニューの設定」(P.223)を参照してください。
CentreWare Internet Servicesを使用して、さらに以下の項目を設定できます。

- 装置名 (工場出荷時: FXxxxxxx)
- 動作モード (工場出荷時: ディレクトリ-PServerモード)
- ツリー名
- コンテキスト名
- ファイルサーバー名
- 通知言語 (工場出荷時: 日本語)
- キュー探索間隔 (工場出荷時: 4秒)
- サーバーの検索回数 (工場出荷時: 上限なし)
- パスワード
- フレームタイプ (工場出荷時: 自動)
- アクティブディスカバリー (工場出荷時: 有効)
- TBCPフィルター (工場出荷時: OFF)

参照

CentreWare Internet Servicesの操作については、「第5章 便利なツールを使用する」(P.109)を参照してください。

補足

TBCPフィルターは、オプションのPostScript®ソフトウェアキット装着時にだけ設定できません。

注記

コンテキスト名は、以下の形式のようにタイプ付きで入力してください。
OU=部門名.O=組織名.C=カンントリー名

ここでは、本機をUNIXのネットワーク環境で使用するための対象クライアントと、設定の流れについて説明します。

●●● 対象クライアント

本機のlpdが対象とするクライアントは、次のとおりです。

- SunOS 4.1.4を実装するSunワークステーション
- HP-UX11.0を実装するHP9000シリーズワークステーション
- Solaris 2.Xを実装するSunワークステーション

●●● 設定の流れ

本機をUNIXのネットワーク環境で使用する手順は次のとおりです。

参照

設定は、「CentreWare Internet Services」でもできます。詳細については、「5.1 クライアントからプリンターの設定をする(CentreWare Internet Services)」(P.110)を参照してください。

設定手順

- ① IPアドレスが設定されていない場合は、IPアドレスを設定します。

参照

- 「1.4 IPアドレスを設定する」(P.9)を参照してください。
- 使用環境に応じて、サブネットマスクやゲートウェイの設定が必要になります。必要に応じて設定をしてください。「8.2 共通メニューの設定を変更する」(P.228)を参照してください。

- ② lpdポートを【キドウ】(工場出荷時:起動)に設定します。

参照

「1.5.1 ポートを起動する」(P.14)を参照してください。

- ③ 使用環境に応じて、「プリントモード指定」(初期値:自動)、「JCL」(初期値:有効)、「lpdスプール」を設定してください。

参照

「8.2 共通メニューの設定を変更する」(P.228)を参照してください。

9.4 インターネット印刷での設定について

ここでは、IPP (Internet Printing Protocol) を使って、Windows® 2000、または Windows® Me からインターネット印刷を利用する場合の設定の流れと、プリンター側の設定について説明します。

参照

インターネット印刷の環境については、「1.1 使用できる環境について」(P.2)を参照してください。

9.4.1 インターネット印刷の設定の流れ

インターネット印刷の設定の流れと、その他の設定できる項目について説明します。

●●● 設定の流れ

IPP環境にプリンターを設定する手順は次のとおりです。

設定手順

- ① プリンターの操作パネル、または「CentreWare Internet Services」を使って、IPアドレスを設定して、IPP用のポートを【キドウ】(工場出荷時:停止)にします。

参照

設定方法については、「9.4.2 プリンター側の設定」(P.265)を参照してください。

- ② クライアント側で、印刷先の設定とプリンタードライバーをインストールします。

参照

設定方法については、CentreWareのCD-ROMに入っている電子マニュアルをごらんください。

●●● その他の設定項目について

必要に応じて、以下の項目も設定してください。ただし、これらの項目は、通常の使用では、工場出荷時の設定を変更する必要はありません。

- IPPのプリントモード指定 (工場出荷時:【ジドウ】)
- IPPのJCL (工場出荷時:【ユウコウ】)
- IPPのTBCPフィルター (工場出荷時:【ムコウ】)
- IPPのアクセス権制御 (工場出荷時:【ムコウ】)
- IPPのDNS使用 (工場出荷時:【ユウコウ】)
- IPPの追加ポート番号 (工場出荷時:【80】)

- IPPのタイムアウト (工場出荷時:【60ピョウ】)
- IPPの受信バッファ容量 (工場出荷時:【スプールシナイ/256K】)

参照

設定項目の詳細は、「第8章 共通メニューの設定」(P.223)を参照してください。また、「CentreWare Internet Services」を使うと、さらに詳細な設定ができます。詳細については、「5.1 クライアントからプリンターの設定をする(CentreWare Internet Services)」(P.110)を参照してください。

補足

IPPの受信バッファ容量の設定は変更できます。「8.2 共通メニューの設定を変更する」(P.228)を参照してください。

9.4.2 プリンター側の設定

IPPを使う場合は、操作パネルで以下の項目を設定する必要があります。

- IPアドレス、および必要に応じて、サブネットマスク、ゲートウェイアドレスを設定する
- IPP用のポートを【キドウ】(工場出荷時:停止)にする

参照

設定は、「CentreWare Internet Services」でもできます。詳しくは、「5.1 クライアントからプリンターの設定をする(CentreWare Internet Services)」(P.110)を参照してください。

●●● IPアドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレスの設定

ネットワーク環境によっては、IPアドレスに加えて、サブネットマスクやゲートウェイアドレスの設定が必要な場合があります。ネットワーク管理者にご相談のうえ、必要な項目を設定してください。

アドレスの指定方法には、DHCPサーバーから自動的に取得する方法と手動で指定する方法があります。設置環境に合わせて指定してください。

参照

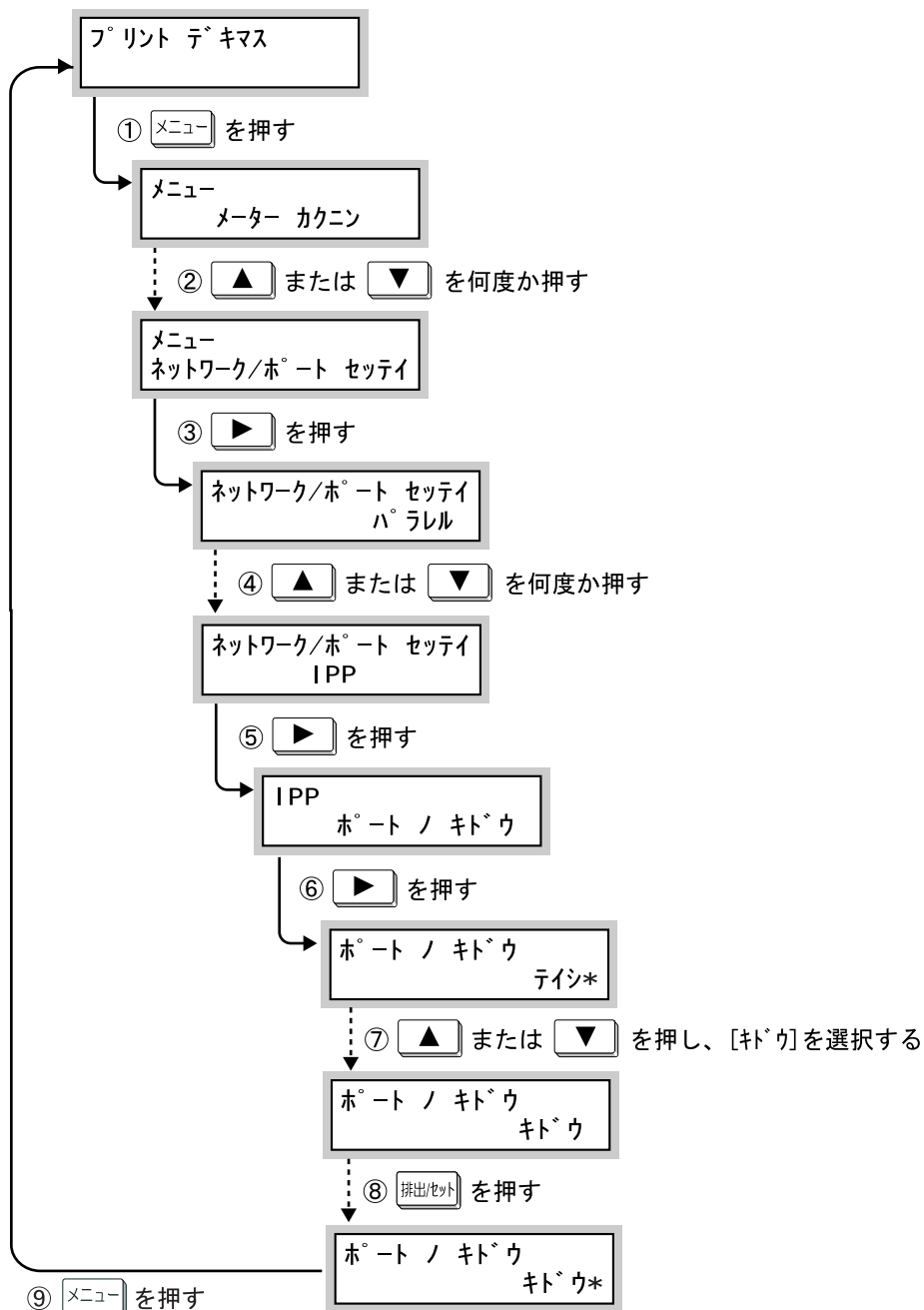
IPアドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレスの設定については、「1.4 IPアドレスを設定する」(P.9)を参照してください。

●●● ポートを起動する

以下の手順に従って、IPP用のポートを起動します。

注記

IPP用のポートを【キドウ】にしたときに、メモリーが不足すると、IPP用のポートが自動的に【テイシ】に設定されることがあります。この場合は、使っていないポートを【テイシ】にするか、メモリー割り当て容量を変更してください。メモリー割り当てについては、「第8章 共通メニューの設定」(P.223)を参照してください。



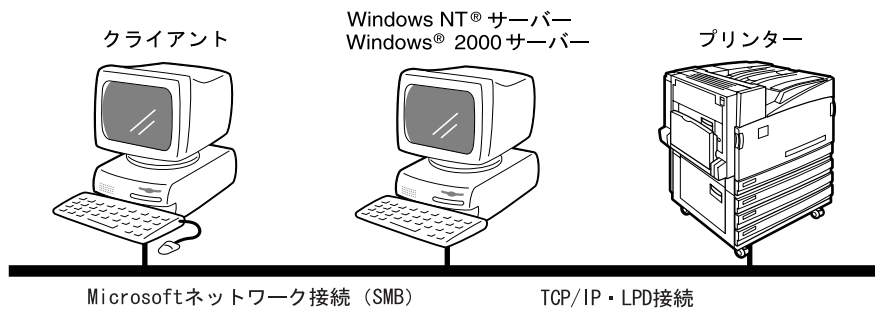
(電源ONの状態に戻ります。約1分後、データ受信可能です。)

9.5

共有プリンターの設定について

本機は、ネットワーク上のWindows NT[®]、またはWindows[®] 2000上に追加して、共有プリンターとして設定することができます。共有プリンターとして設定すると、ネットワーク上のほかのWindows NT[®]、Windows[®] 2000クライアントや、Windows[®] 95、Windows[®] 98、Windows[®] Meクライアントからも印刷できます。また、各クライアントは、プリンタードライバーをネットワーク経由でインストールできるようになります。

ここでは、本機を共有プリンターとして使用する場合の設定について説明します。



●● プリンターを共有に設定する

共有プリンターの設定は、プリンタードライバーのインストールが完了したときの画面からできます。[共有]を押して、プリンターを共有に設定します。

参照

プリンターを共有に設定する手順については、CentreWareのCD-ROMに入っている電子マニュアルをごらんください。

●● ネットワークサービス補助ツール(プリンタネームサービス)を Windows NT[®]、Windows[®] 2000にインストールする

ネットワーク上のWindows[®] 95、Windows[®] 98、Windows[®] Meクライアントから、共有プリンターを使用する場合は、同じドメイン、またはワークグループ内のWindows NT[®]、またはWindows[®] 2000クライアントに、弊社製の「プリンタネームサービス」をインストールします。「プリンタネームサービス」は、必ずWindows NT[®]、またはWindows[®] 2000にインストールしてください。Windows[®] 95、Windows[®] 98、またはWindows[®] Meにはインストールできません。

また、必ず管理者の権限を持ったユーザーがインストールしてください。

Windows[®] 95、Windows[®] 98、Windows[®] Meクライアントは、lprで接続された共有プリンターのポート/キュー情報を自動で取得できます。

参照

「プリンタネームサービス」のインストール手順については、CentreWareのCD-ROMに入っている電子マニュアルをごらんください。

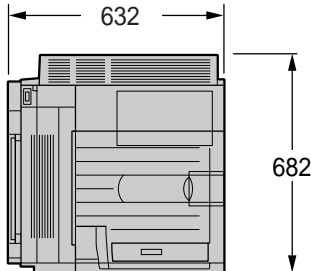
付 録

A	主な仕様	270
	A.1 製品の仕様	270
	A.2 印刷できる領域	272
	A.3 内蔵フォント	272
	A.4 パラレルインターフェイス	274
B	オプション製品一覧	276
C	注意/制限事項について	277
	C.1 本体の注意と制限	277
	C.2 TCP/IP (lpd)	278
D	用語集	280
E	Q & A	282
F	プリンター本体のソフトウェアのバージョンアップについて ..	285

A.1 製品の仕様

●●● 本体

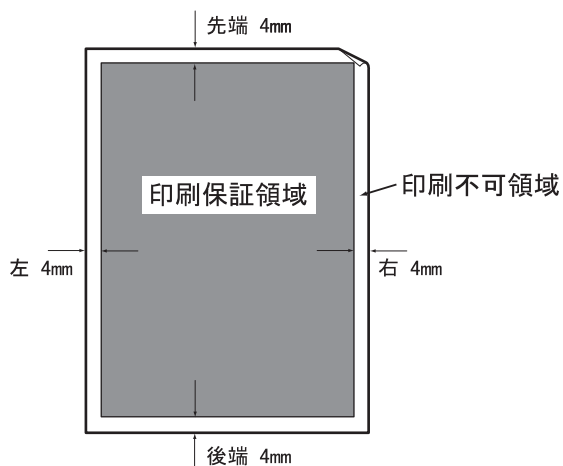
項目	内容
形式	デスクトップタイプ
プリント方式	マイクロタンデムレーザーゼログラフィー
ウォームアップタイム	45秒以内
連続プリント速度 (白黒/カラー)	用紙トレイ1から給紙 片面：22枚/分(A4 □)、16枚/分(A4 □)、13枚/分(B4)、11枚/分(A3) 両面：18枚/分(A4 □)、10枚/分(A4 □)、9枚/分(B4)、8枚/分(A3) 用紙トレイ(手差し)から給紙 普通紙：片面16枚/分(A4 □)、11枚/分(A3) 両面16枚/分(A4 □)、8枚/分(A3) OHPフィルム：8枚/分(A4 □) 厚紙1/厚紙2/ラベル紙：8枚/分(A4 □)、5枚/分(A3) はがき(□)：8枚/分
解像度	23.6ドット/mm(600dpi)
用紙サイズ	用紙トレイ1～4： A3～A5 用紙トレイ(手差し)： はがき～A3、幅12インチ(305mm)ガイド移動時) 長尺(297×900mm)：297.2mm×900mm 非定形：短辺：100～305mm、長辺：140～483mm
給紙容量 (用紙はすべてP紙)	標準モデル： 用紙トレイ1(560枚)、用紙トレイ(手差し)100枚) 標準+1トレイキャビネットモデル： 用紙トレイ1、2(各560枚)、用紙トレイ(手差し)100枚) 標準+3トレイキャビネットモデル： 用紙トレイ1～4(各560枚)、用紙トレイ(手差し)100枚) 標準+大容量給紙キャビネットモデル： 用紙トレイ1、2(各560枚)、用紙トレイ3(大容量)980枚)、 用紙トレイ4(大容量)1,280枚)、用紙トレイ(手差し)100枚)
最大給紙容量	3,480枚(560+560+980+1,280+100) 標準+大容量給紙キャビネットモデルの場合
出力トレイ容量	標準排出トレイ：約400枚(A4 □) オフセット排出トレイ：約200枚(A4 □)

項目	内容
両面印刷	あり(両面印刷機能付きの場合)
メモリー容量	標準：32MB
	オプション：128MB増設メモリー(DocuPrint C2220だけ) 256MB増設メモリー(DocuPrint C2221だけ)
搭載フォント	標準：アウトラインフォント(平成明朝体W3、平成角ゴシック体W5、欧文15書体)
PDL	標準：ART EX
	オプション：PostScript3、ART、ESC/P、HP-GL/2
エミュレーション	ESC/P、HPGL、HP-GL/2
インターフェイス	標準：Ethernet(100Base-TX/10Base-T) 双方向パラレル(IEEE1284-B)
対応プロトコル	セントロ：Compatible.Nibble、ECP Ethernet：TCP/IP、NetWare、EtherTalk、SMB、DHCP、 IPX/SPX、NetBEUI、UDP/IP
ドライバー対応OS	Windows® 95/98/Me、Windows NT® 4.0、Windows® 2000
稼働音	稼働時：66.5db(フルシステム69.0db)、待機時：41db
電源	100V・15A、50/60Hz共用
消費電力	最大：1,050W以下、稼働時平均：485W以下 スリープモード時：5W以下
大きさ	標準モデル： 幅632×奥行682×高さ493mm
	標準+1トレイキャビネットモデル： 幅632×奥行682×高さ857mm
	標準+3トレイキャビネットモデル： 幅632×奥行682×高さ857mm
	標準+大容量給紙キャビネットモデル： 幅632×奥行682×高さ857mm
機械占有寸法	標準モデル： 幅632×奥行682mm (用紙トレイ(手差し)含まず)  単位：mm
質量 (用紙、オプションを除く)	標準モデル：82kg
	標準+1トレイキャビネットモデル：102kg
	標準+3トレイキャビネットモデル：112kg
	標準+大容量給紙キャビネットモデル：121kg

A.2 印刷できる領域

●●● 標準印字エリア(ART EXプリンタードライバーの場合)

用紙の各端より、約4mmを除く領域が印刷できる領域です。なお、実際の印字できる領域は、各プリンター(プロッター)制御言語によって異なることがあります。



A.3 内蔵フォント

標準で以下のフォントを使用できます。



オプションのPostScriptフォントについては、『PostScript®ソフトウェアキット取扱説明書』を参照してください。

●●● ストロークフォント(HP-GL/2専用)

- 欧文+カタカナストロークフォント
- 日本語ストロークフォント

●●● アウトラインフォント

搭載されているアウトラインフォントと使用できるページ記述言語またはエミュレーションモードとの関係は、次のとおりです。なお、標準で搭載されているアウトラインフォントは、PostScriptでは使用できません。

	書体	ART EX	ART	ESC/P	HP-GL/2
和文	平成明朝 [Wt.3]				
	平成角ゴシック [Wt.5]				
欧文	平成明朝(ローマン)				
	平成角ゴシック(サンセリフ)				
	平成角ゴシック(FMT)				
	Enhanced Classic				
	Enhanced Modern				
	CS Times Roman				
	CS Times Italic				
	CS Times Bold				
	CS Times Bold Italic				
	CS Triumvirate Regular				
	CS Triumvirate Italic				
	CS Triumvirate Bold				
	CS Triumvirate Bold Italic				
	CS Courier				
	CS Courier Oblique				
	CS Courier Bold				
CS Courier Bold Oblique					
CS Symbol					

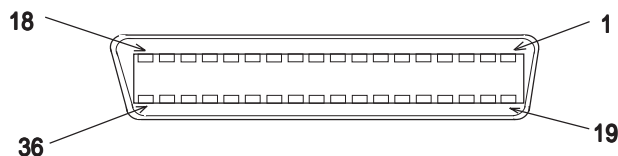
: 標準装備

A.4 パラレルインターフェイス

本機に標準で装備されているパラレルインターフェイス(セントロニクス準拠インターフェイス/IEEE1284規格準拠)について説明します。

●●● コネクタの形状

プリンターには、IEEE1284-Bタイプのコネクタが装備されています。コネクタの形状は、次のようになっています。



●●● ピン配置

双方向がOFFのとき、各信号のピン配置は、次のようになっています。

Pin No.	Signal Name	I/O	Pin No.	Signal Name	I/O
1	nStrobe	I	19	Signal Ground	-
2	Data1	I	20	Signal Ground	-
3	Data2	I	21	Signal Ground	-
4	Data3	I	22	Signal Ground	-
5	Data4	I	23	Signal Ground	-
6	Data5	I	24	Signal Ground	-
7	Data6	I	25	Signal Ground	-
8	Data7	I	26	Signal Ground	-
9	Data8	I	27	Signal Ground	-
10	nAck	O	28	Signal Ground	-
11	Busy	O	29	Signal Ground	-
12	PError	O	30	Signal Ground	-
13	Select	O	31	nInit	I
14	nAutoFd	I	32	nFault	O
15	(RESERVED)	-	33	(RESERVED)	-
16	Logic GND	-	34	(RESERVED)	-
17	Chassis Gnd	-	35	(RESERVED)	-
18	Peripheral Logic High	O	36	nSelectIn	I

補足

- I/Oはプリンターから見てIが入力信号、Oが出力信号、-は信号でないことを表しています。
- 双方向がONのときの結線は、IEEE1284-Bタイプコネクタ - の規格に準拠しています。

●●● 信号の意味

双方向がOFFのとき

- nStrobe(Pin No.1)
Data1～8を読み込むための同期信号、LOWアクティブのパルスが必要です。
- Data1～8(Pin No.2～9)
8 bits パラレルのData入力でData1がLSB (最下位bit)、Data8がMSB (最上位bit)です。
- nAck(Pin No.10)
受信DATAの取り込み完了を表すLOWアクティブのパルス信号です。
- Busy(Pin No.11)
プリンターがDATA受信不可能であることを表すHIGHアクティブの信号です。
- PError(Pin No.12)
用紙がなくなったことを表すHIGHアクティブの信号です。
- Select(Pin No.13)
データ受信可能であることを表すHIGHアクティブの信号です。
- nAutoFd(Pin No.14)
双方向がONのときのための信号です。
- Chassic Gnd(Pin No.17)
フレームグランドに接続されます。
- Peripheral Logic High(Pin No.18)
プリンター側の+5V電圧です。
- Signal Ground(Pin No.19～30)
各信号用グランドに接続されます。
- nInIt(Pin No.31)
プリンターの初期化を要求するLOWアクティブのパルス信号です。
- nFault(Pin No.32)
プリンターに紙づまりなどの障害が発生したことを表すLOWアクティブの信号です。
- nSelectIn(Pin No.36)
双方向がONのときのための信号です。

双方向がONのとき

各信号線はIEEE 1284の規格に準拠しています。

主なオプション製品は以下のとおりです。お買い求めの際は、販売店までご連絡ください。

商 品 名	商品区分	商品番号
内蔵増設ハードディスク装置	オプション製品	55P1187
増設256MBメモリー	オプション製品	55P1188
1トレイキャビネット	オプション製品	55P1183
3トレイキャビネット	オプション製品	55P1184
大容量給紙キャビネット	オプション製品	55P1185
専用キャビネット	オプション製品	55P1186
パラレルインターフェイスケーブル(25-36ピン)		
2.4m	オプション製品	81X7875
5.0m	オプション製品	09F5544

補足

- 商品の種類や商品コードは2001年10月現在のものです。
- 商品の種類や商品コードは変更されることがあります。
- 最新の情報については、弊社の営業担当員、または販売店にお問い合わせください。

●●● PostScript®ソフトウェアキット(商品番号:55P1189)

PostScript®ソフトウェアキットを装着すると、本機をPostScript対応プリンターとして利用できます。また、Macintoshから印刷できます。

●●● ART /エミュレーションキット(商品番号:55P1190)

ART /エミュレーションキットを装着すると、ART や、エミュレーションのESC/P、HP-GL/2で印刷できます。ESC/P、HP-GL/2で印刷するときは、本機をエミュレーションモードにします。本機には、複数のエミュレーションモードがありません。エミュレーションモードと、エミュレートするプリンターの対応は、次のとおりです。

エミュレーションモード	エミュレートするプリンター
ESC/Pエミュレーションモード	VP-1000
HP-GLエミュレーションモード	HP DesignJet 750C PlusまたはHP7586B
HP-GL/2エミュレーションモード	HP DesignJet 750C Plus

補足

PostScript®ソフトウェアキットとART /エミュレーションキットは、同時に装着できません。



注意/制限事項について

C.1 本体の注意と制限

ここでは、本機を使用するうえでの注意、および制限について説明します。

●●● 内蔵増設ハードディスク装置(オプション)について

- 内蔵増設ハードディスク装置を装着した場合、lpd、SMB、IPPからの印刷データの格納先として、ハードディスクが指定できます。また、ART EX、ART (オプション)、HP-GL/2 (オプション)それぞれのフォームの格納先は、ハードディスク固定になります。ほかの領域には変更できません。
- ハードディスクの初期化によって消去されるデータは、追加フォント、ART EX、ART (オプション)、HP-GL/2 (オプション)の各フォーム、ART ユーザー定義データ、SMBフォルダーです。セキュリティプリント文書、各ログは、消去されません。

●●● 印刷結果が設定と異なるとき

プリントページバッファの容量不足が原因で、次のように、設定と異なる結果となることがあります。この場合、メモリーの増設をお勧めします。

- 両面印刷の指定が片面印刷で印刷される
- ジョブが中止される(プリントページバッファに展開できない場合、そのページを含むジョブが中止されます)

●●● オプションについて

- ソート(電子丁合い機能)、セキュリティプリント、ページ印刷モードを使用する場合は、オプションの内蔵増設ハードディスク装置が必要です。
- DocuPrint C2221で、長尺サイズの用紙に印刷する場合は、オプションの増設256MBメモリーが必要です。
- 本機をPostScript対応プリンターとして使用する場合は、オプションのPostScript®ソフトウェアキットの設置が必要です。
- ART 対応、および、ESC/P、HP-GL/2をエミュレートする場合は、オプションのART /エミュレーションキットの設置が必要です。

補足

PostScript®ソフトウェアキットとART /エミュレーションキットは、同時に装着できません。

C.2 TCP/IP(Lpd)

TCP/IP(Lpd)での注意/制限事項は、次のとおりです。

●●● 本機側の設定について

- IPアドレスの設定には十分注意してください。IPアドレスはシステム全体で管理されているアドレスです。ネットワーク管理者と十分相談のうえ、設定してください。
- ネットワーク環境によっては、サブネットマスクやゲートウェイアドレスの設定が必要になります。ネットワーク管理者に相談のうえ、必要な項目を設定してください。
- ポート状態を「起動」に設定したとき、メモリーが不足すると、ポート状態が自動的に「停止」に設定されることがあります。この場合は、使っていないポートを「停止」にするか、メモリー割り当て容量を変更するか、メモリーを増設してください。
- 使用環境に応じて、受信バッファ容量【Lpdスプール】のサイズを設定してください。送信されたデータより、受信バッファ容量【Lpdスプール】のサイズが小さい場合、受信できないことがあります。

●●● クライアント側の設定について

- IPアドレスの設定には十分注意してください。IPアドレスはシステム全体で管理されているアドレスです。ネットワーク管理者と十分相談のうえ、設定してください。
- NIS(Network Information Service)の管理下で使用されているクライアントで、ネットワーク(IPアドレスなど)の設定を行う場合は、NISの管理者に相談してください。

●●● 電源を切るとき

本機の電源を切るときは、次の点に注意してください。

【Lpdスプール】の設定が【メモリースプール】のとき

印刷中のデータを含め、本機のメモリーにスプールされた印刷データはすべて削除されます。再び電源を入れたときは、印刷データは存在しません。

ただし、印刷指示の直後に電源を切った場合、印刷データがクライアント上に保存されることがあります。この場合、再び電源を入れたときは、新しく印刷指示が行われた場合でも、保存されている印刷データから順に印刷されます。

【lpdスプール】の設定が【ハードディスクスプール】のとき

印刷中のデータを含め、本機のハードディスクにスプールされた印刷データはすべて保存されます。再び電源を入れたときは、新しく印刷指示が行われた場合でも、保存されている印刷データから順に印刷されます。

【lpdスプール】の設定が【スプールシナイ】のとき

印刷中のデータを含め、本機の受信バッファにスプールされた印刷データはすべて削除されます。再び電源を入れたときは、印刷データは存在しません。ただし、印刷指示の直後に電源を切った場合、印刷データがクライアント上に保存されることがあります。この場合、再び電源を入れたときは、新しく印刷指示が行われた場合でも、保存されている印刷データから順に印刷されます。

●●● 印刷するとき

【lpdスプール】の設定が【ハードディスクスプール】、または【メモリースプール】のとき

印刷データの受信を開始したときに、印刷データのサイズがハードディスク、またはメモリーの残り容量より大きい場合、その印刷データは受信できません。

補足

印刷データが受信容量を超えた場合、クライアントによってはすぐに再送信することがあります。このときクライアントがハングアップしたように見えます。対処として、クライアント側でその印刷データの送信を中止してください。

【lpdスプール】の設定が【スプールシナイ】のとき

あるクライアントから印刷要求を受け付けていた場合、別のクライアントからの印刷要求を受け付けることができません。

クライアントのIPアドレスやコンピューター名を変更した場合

クライアントのIPアドレスやコンピューター名を変更した場合、本機側からの問い合わせ処理や取り消し処理が正常に行われなくなります。本機の受信バッファに印刷データがない状態で、本機の電源を切/入してください。

補足

本機の受信バッファにある印刷データの印刷中止/強制排出は、操作パネルから操作できません。操作方法は、「4.3 印刷を中止する/印刷を指示したジョブの状態を確認する」(P.77)、「7.6 印刷データを強制的に排出させる」(P.221)を参照してください。

D 用語集

【A3】

420 × 297ミリメートルの用紙のことです。

【A4】

297 × 210ミリメートルの用紙のことです。

【A5】

210 × 148ミリメートルの用紙のことです。

【ART】

Advanced Rendering Toolの略で、弊社がページプリンター用に開発したプリンター制御言語です。

【ART EX】

弊社製のページ記述言語です。

【B4】

364 × 257ミリメートルの用紙のことです。

【B5】

257 × 182ミリメートルの用紙のことです。

【CMYK】

カラー印刷などでの色の表現方法です。
C(シアン) M(マゼンタ) Y(イエロー) K(ブラック)の4色に分解し、その4種類の色を重ね合わせて印刷します。

【DPI】

Dot Per Inchの略で、1インチ幅に印字できるドット数を表す単位です。解像度を示す単位として使います。

【ICM】

Image Color Matchingの略で、Windows® 98、Windows® Me、Windows® 2000で採用されている色管理用ソフトウェアです。デバイスによる色の違いを補正し、画面とプリンターによる印刷結果の色を一致させます。

【Image Enhancement(イメージエンハンスメント)】

白黒の境目を滑らかにしてギザギザを減らし、疑似的に解像度を高める機能です。

【NVメモリー】

電源を切ってもプリンターの設定内容を保持しておくことが可能な、不揮発性のメモリーです。

【RAM】

Random Access Memoryの略で、情報の読み出しと書き込みができる記憶装置(メモリー)です。

【ROM】

Read Only Memoryの略で、情報の読み出し専用の記憶装置(メモリー)です。

【印字領域】

用紙に対して実際に印字可能な領域です。

【エミュレーション】

他社のプリンターで印刷した場合と同等の印字結果を得ることができるよう、プリンターを動作させることです。このモードをエミュレーションモードと呼びます。

【解像度】

画像の細かさを表します。通常1インチあたりのドット数(単位はdpi)で表し、この数値が大きいほど解像度が高い(細部まで表現できる)といえます。

【階調】

色と色のなめらかさをいいます。グラデーションのステップ数で階調数を表し、その数値が大きいほどなめらかになります。

【カット紙】

A4、B5などの定型サイズの内紙のことです。

【共通メニュー】

メーター確認、クイックセットアップ、レポート/リスト、システム設定、ネットワーク/ポート設定、メモリー設定、初期化/データ削除、プリント設定、階調補正から構成され、すべてのプリントモードに共通の設定をするためのメニューです。

【グラデーション】

写真やイラストなどに見られる、連続した色の濃さの変化をいいます。

【受信バッファ】

バッファとはクライアントから送信されたデータを、一時的に蓄えておく場所です。受信バッファのメモリー容量を増やすことによって、クライアントの解放を早くすることができます。

【初期値】

工場出荷時、およびNVメモリー初期化時の設定です。

【ジョブ】

ひとまとまりの印刷データのことです。印刷の中止や排出はジョブ単位で行われます。

【スクリーン】

プリンターなどで、印刷物の濃さを表すための点を網点といい、印刷するときの網点の列、または線の本数をスクリーン線数といいます。スクリーン線数によって、表現できる階調が変化します。

【プロトコル】

データ通信を行うために必要な通信規約です。

【プリントページバッファ】

印刷データを実際に展開し、蓄えておく場所です。

【プリンタードライバー】

アプリケーションで作成したデータを、プリンターが解釈できるデータに変換するソフトウェアです。

【モードメニュー】

ESC/Pエミュレーションモード、HP-GL/2エミュレーションモードで構成され、エミュレーションモードごとにその処理に固有な条件を設定するためのメニューです。

ここでは、よくある質問とその解決方法について説明します。
本機をご使用される場合に、参考にしてください。

●● プリンターの設定状況を確認したい

機能設定リストを見ると、現在のプリンターの設定状況が確認できます。

参照

機能設定リストについては、「6.3 レポート/リストを印刷する (P.149)を参照してください。

●● どんな印刷機能があるか知りたい

本機専用のART EXプリンタードライバーでは、まとめて1枚、両面機能、拡大連写、小冊子作成など、様々な印刷機能が使用できます。

参照

各機能については、「4.2 主な印刷機能一覧 (P.63)を参照してください。

●● 用紙トレイの用紙サイズを変えたい

用紙トレイ1~4にセットされている用紙以外のサイズの用紙を一時的に使用する場合は、用紙トレイ5(手差し)を使用すると便利です。
また、用紙トレイ1~4の用紙サイズを変えることもできます。

参照

用紙トレイ5(手差し)への用紙セット方法や、用紙トレイ1~4の用紙サイズ変更については、「6.1 用紙をセットする (P.120)を参照してください。

●● はがきや封筒や長尺サイズの用紙に印刷したい

本機では、用紙トレイ5(手差し)を使用して、官製はがきや封筒(定型長3号封筒)や長尺サイズの用紙に印刷できます。

参照

印刷方法については、「4.5 はがき/封筒/長尺サイズの用紙に印刷する (P.82)を参照してください。

●● 白黒印刷したい

白黒原稿は、自動的に判断して白黒印刷されます。カラー原稿を白黒印刷したい場合は、プリンタードライバーのプロパティで「カラーモード」を「白黒」に設定します。



カラーモードの設定については、「4.2 主な印刷機能一覧 (P.63)」を参照してください。

●●● 特殊用紙に印刷したい

用紙トレイ5(手差し)を使用して、特殊用紙(厚紙、OHPフィルム、うす紙)などに印刷できます。特殊用紙は、用紙トレイ1~4からは印刷できません。



印刷方法については、「4.4 特殊用紙に印刷する (P.80)」を参照してください。

●●● 原稿に合わせた画質で印刷したい

原稿の種類(写真、文字、プレゼンテーション、Webなど)に合わせて印刷したり、細かいカラーに関する設定ができます。



原稿の種類に合わせて印刷する場合は、「4.10 印刷モードを設定する (P.100)」を、細かいカラーの印刷設定については「4.11 画質を調整して印刷する (P.103)」を参照してください。

●●● 複数のクライアントにプリンタードライバーをインストールしたい

セットアップディスク作成ツールを使用すると、同じ設定(印刷機能や、ポート)のプリンタードライバーを複数の人にインストールする場合に、便利です。



セットアップディスク作成ツールについては、CentreWareのCD-ROMに入っている電子マニュアルをごらんください。

●●● 印刷指示したのに印刷されない

ジョブ履歴レポート、またはエラー履歴レポートを印刷して、印刷を指示した印刷ジョブを確認してください。



ジョブ履歴レポート、エラー履歴レポートについては、「6.3 レポート/リストを印刷する」(P.149)を参照してください。

●●● OSをバージョンアップして、本機を使用したい

プリンタードライバーは、各OS専用のものがあります。新しいOSに対応したプリンタードライバーをインストールし直してください。

参照

プリンタードライバーのインストール方法については、「第2章 プリンタードライバーのインストール」(P.23)を参照してください。

●●● 印刷指示した印刷ジョブが出力されたか確認したい

CD-ROMに入っているCentreWareネットワークサービスのプリンターモニターを使用すると、お使いのコンピューター上で印刷指示した印刷ジョブの処理状態を確認できます。また、CentreWare Internet Servicesを使用すると、お使いのコンピューターから印刷ジョブの削除もできます。

参照

CentreWare Internet Servicesについては、「5.1 クライアントからプリンターを設定する (CentreWare Internet Services)」(P.110)を、プリンターモニターについては、CentreWareのCD-ROMに入っている電子マニュアルをごらんください。

●●● 印刷枚数を確認したい

操作パネルのディスプレイで、印刷枚数を確認できます。また、プリンター出力集計レポートを印刷すると、クライアント別(ジョブオーナー別)に印刷枚数を確認できます。

参照

印刷枚数の確認については、「6.4 総印刷枚数を確認する」(P.167)を参照してください。

●●● 印刷に時間がかかる

印刷指示してもなかなか出力されない場合(目安として5分程度)は、以下の方法をお試しください。印刷時間が短縮される場合があります。

- [印刷モード]を[速度優先]にする
- [ページ印刷モード]を[する]にする(イメージや文字の点数の多い複雑なファイルに有効です)
- [イメージ圧縮]を最適な方法に変更する
- [プリンタドライバの解像度]を下げる

参照

- 印刷モードの設定の仕方については、「4.10 印刷モードを設定する」(P.100)を参照してください。
- ページ印刷モードについては、「4.2.3 主な印刷機能一覧 ●●●[初期設定]ダブ ページ印刷モード」(P.75)を、参照してください。
- イメージ圧縮については、「4.2.3 主な印刷機能一覧 ●●●[グラフィックス]ダブ 写真」(P.71)を参照してください。
- プリンタドライバの解像度については、「4.2.3 主な印刷機能一覧 ●●●[グラフィックス]ダブ プリンタドライバの解像度」(P.71)を参照してください。

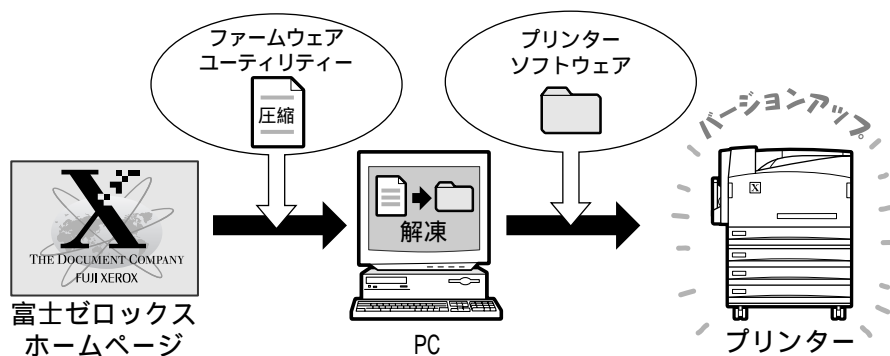
プリンター本体のソフトウェア のバージョンアップについて

富士ゼロックスでは、プリンター本体に組み込まれたソフトウェア(以下、「プリンターソフトウェア」と呼びます)を、パーソナルコンピュータからバージョンアップするツールを提供しています。

このツールを、ファームウェアユーティリティと呼びます。

このファームウェアユーティリティは、富士ゼロックスのホームページから取り出すことができます。

DocuPrint C2220/2221では、このファームウェアユーティリティを使用して、プリンターソフトウェアをバージョンアップすることができます。



●●● ファームウェアユーティリティを入手するホームページのアドレス(URL)

<http://www.fujixerox.co.jp/service/soft.html>

●●● プリンターソフトウェアのバージョンアップの流れ

バージョンアップする操作の流れは、次のとおりです。詳細な手順は、ファームウェアユーティリティに付属するRead Meファイルを参照してください。

- ① 富士ゼロックスのホームページから、該当製品(DocuPrint C2220/2221)のファームウェアユーティリティをコンピュータに取り出します。
- ② ファームウェアユーティリティを解凍します。
- ③ ファームウェアユーティリティを実行して、プリンターソフトウェアのバージョンアップをします。

索引

記号

10Base-T/100Base-TX コネクター	49
12 × 18 インチ	131
1トレイキャビネット	51, 276
3トレイキャビネット	48, 276

A

Adobe 通信プロトコル	230
AppleTalk	5
ART / エミュレーション	276
ART / エミュレーションプログラム ROM	52
ART フォームメモリー	20
ART ユーザー定義メモリー	20
ART EX の起動	229
ART EX フォーム削除	241
ART EX フォーム登録リスト	149, 163
ART EX フォームメモリー	20, 239
ART IV, ESC/P ユーザー定義リスト	149
ART4 フォーム削除	241
ART4 フォームメモリー	239
ART4 ユーザー定義メモリー	239

C

C ² (シーツ) 紙	121
C ² r (シーツアール) 紙	121
CentreWare Internet Services	110
CentreWare ドライバー & ネットワーク ユーティリティ	24
CMS 調整 (アプリケーション)	101

D

DHCP からアドレス取得	238
DNS 使用	235

E

ESC/P 設定リスト	149
ESC/P フォーム削除	241
Ethernet 設定	238
EtherTalk	236
EtherTalk メモリー	240

H

HP-GL/2 [®] 設定リスト	149
HP-GL/2 [®] パレットリスト	149
HP-GL/2 [®] 論理プリンター・メモリー 登録リスト	149
HPGL オートレイアウトメモリー	21, 239

I

ICC プロファイル指定	106
ICM 調整 (システム)	101
Image Enhancement	71
IPP	235, 264
IPX/SPX フレームタイプ	238
IP アドレス	237
IP アドレス取得方法	237
IP アドレスの設定	11

J

JCL	230, 232, 233 ~ 236
-----	---------------------

L

lpd	231
lpd スプール	240
IPP スプール	240
IPP メモリー	240

N

NetWare	4, 233, 260
NetWare メモリー	240
NV メモリー初期化	241

O

OHP 合紙	67
OHP フィルム	121

P

PDL	271
PostScript [®] ソフトウェア	276
PostScript フォント ROM	52
PostScript [®] フォントリスト	149, 164

PostScript プログラム ROM	52
PostScript® 論理プリンター	
登録リスト	149, 165
PS 使用メモリー	21, 239
P 紙	121

R

R1 カバー	48, 192
R2 カバー	48, 193
R3 カバー	48, 194
R4 カバー	49, 195

S

SMB	234, 252
SMB スプール	240
SNMP 設定	236

T

TBCP フィルター	232 ~ 235
TCP/IP Direct Print Utility	3
TCP/IP (Ipd)	3
TCP/IP (UNIX)	4
TCP/IP 設定	237
TrueType フォント	73, 92
TrueType フォントの置き換え方法	93

U

UNIX	263
------	-----

W

Windows® ネットワーク (SMB)	2, 252
WINS サーバー設定	238
WR100 紙	121

ア

アース線	xv
アクセス権制御	235
鮮やかさ	101

イ

異常警告音	228
色温度	106
色温度 / ガンマ指定	106
印刷モード	69, 100
インターネット印刷	5, 264
インターネットサービス	237
インターフェイス	271
インプットプライム	231

ウ

ウォームアップタイム	270
受け付け IP の制限	232
受け付け IP の登録	232
薄墨印刷	71

エ

エミュレーション	271
エラーコード	215
エラーメッセージ	204
エラーランプ	53
エラー履歴レポート	149, 153

オ

オーバーレイ印字	73, 85
大きさ	271
おすすめ画質タイプ / インテント	
リストボックス	70
オフセット排出	68
オンラインヘルプ	64, 116
オンラインランプ	53

カ

解像度	270
階調補正	172, 227
階調補正チャート	172
拡大連写	66
画質自動補正	70
画質調整	70
画質調整タブ	103
画質調整モード	70, 100

画質優先	100
カスタムセットアップ	32, 40
稼働音	271
紙づまり	188
カラーバランス	70, 105
カラーバランスタブ	103
カラーメトリック	101
カラーモード	69
ガンマ補正	106

キ

機械使用上の注意	xvii
機械占有寸法	271
機能設定リスト	149, 150
キヤスター	48
給紙容量	270
共通メニュー	224, 228
共通メニュー画面	55
共有プリンター	267

ク

クイックセットアップ	225
グラフィックスプロパティ	103
グレー保証	71

ケ

ゲートウェイアドレス	12, 237
警告ラベル	xxi
形式	270
原稿サイズ	65
原稿の向き	65
検索回数	233

コ

コネクションタイムアウト	232
コミュニティ登録(R/W)	237
コミュニティ登録(R)	237
コミュニティ登録(Trap)	237
コントラスト	101, 103

サ

最大給紙容量	270
彩度	103
サブネットマスク	12, 237

シ

システム設定	226, 228
システム時計	229
質量	271
自動ジョブ履歴	229
自動排出時間	231
集計レポート初期化	171, 241
受信バッファ	21
受信バッファ容量	240
出力用紙サイズ	65
上下左右ボタン	53
詳細設定タブ	103
小冊子作成	66
消費電力	271
消耗品	134
消耗品取り扱い上の注意	xix
初期化 / データ削除	227, 241
ジョブオーナーの指定	74
ジョブ履歴レポート	149, 154
処理中ランプ	53
白黒印刷	65

ス

ズーム	65
スタンプ	72
ストッパー	50
スリープモード	59

セ

セカンダリー IP アドレス	238
セキュリティプリント	68, 95
セキュリティプリントのユーザー名	74
セキュリティ文書削除	241
設置および移動時の注意	xii
設置スペース	xiii
節電ボタン	53

節電モード	229
節電モード移行時間	229
センタートレイのオフセット	244

ソ

ソートする	68
操作パネル	48
操作パネル制限	228
増設 128MB メモリー	52, 276
増設 256MB メモリー	52, 276
双方向通信	231
速度優先	100

タ

対応プロトコル	271
タイムアウト	236
大容量給紙キャビネット	51, 276
たてよこ混在原稿設定	66
タブ	63

チ

蓄積文書リスト	149, 162
注意ラベル	xxi
長尺 (297 × 900 mm)	82, 196

ツ

追加ポート番号	236
---------	-----

テ

低電力モード	59
ディスプレイ	53
手差し用紙種類	67
手差し用紙の給紙方向	74
電源	271
電源およびアース接続時の注意	xiv
電源スイッチ	49, 56
電源を切るときの注意	xx

ト

搭載フォント	271
ドキュメントモニター	76
特殊用紙	80, 122
とじしろ	69
トナーカートリッジ	50, 134, 135
トナー回収ボトル	134, 142
トナー回収ボトルカバー	50
トナーセーブ	71
ドライバー対応 OS	271
トラブル	183
ドラムカートリッジ	50, 134, 138
トランスポートプロトコル	233, 234, 236
トレイの優先順位	243
トレイの用紙種類	242

ナ

内蔵増設ハードディスク装置	52, 276
---------------	---------

ニ

入力画像	106
入力ポート	54

ネ

ネットワーク / ポート設定	226, 230
----------------	----------

ハ

ハードディスク初期化	241
排出 / セットボタン	53
排出トレイ	48
白紙節約	75
パスワードの変更	228
パラレル	230
パラレルインターフェイス	274
パラレルインターフェイスケーブル	276
パラレルインターフェイスコネクタ	49
パラレルメモリー	240
ハンドル	50

ヒ

非定形	88
表紙付け	67
表示部	53
標準印字エリア	272
標準紙	121
標準セットアップ	28

フ

ファームウェアユーティリティ	285
フォーム	72
フォーム作成 / 登録	73
フォント置き換えテーブルの編集	75
フォントリスト	149, 161
部数	65
普通紙	120
フューザーカートリッジ	50, 134, 146
プライマリー IP アドレス	238
プリンターオプション用カバー	49
プリンター出力集計レポート	149, 160, 168
プリンター状態	54
プリンターソフトウェア	285
プリンタドライバの解像度	71
プリント可能領域	229
プリント画面	54
プリント設定	227, 242
プリント方式	270
プリントモード指定	230, 232 ~ 235
ブレーカースイッチ	49
プロパティ画面	63
プロファイル指定	71
プロファイル指定タブ	103
フロントカバー	48

へ

ページ印刷モード	75
----------	----

ホ

ポーズ自動解除	229
ポーズボタン	53
ポートの起動	230, 231, 233 ~ 236

マ

まとめて1枚	66
--------	----

メ

メーター	167
メーター確認	225
メートル坪量	120
明度	103
メタファイルスプール	75
メッセージ	204
メニューボタン	53
メモリー	19
メモリー設定	226, 239
メモリー容量	271
メンテナンス品	134

モ

モードボタン	53
モードメニュー	224
モードメニュー画面	55
モニター	106

ユ

ユーザー定義用紙	75, 88
----------	--------

ヨ

用紙ガイド	131
用紙サイズ	270
用紙サイズ合わせガイド	130
用紙止め	48
用紙トレイ1 ~ 4	124
用紙トレイ5 (手差し)	129
用紙トレイ1、2、3、4	48
用紙トレイ5 (手差し)	48
用紙トレイ3 (大容量)	51
用紙トレイ選択	67
用紙トレイ4 (大容量)	51
用紙の置き換え	242
用紙の画質処理	243
用紙の優先順位	242
用紙名称設定	243

リ

両面印刷65

レ

レーザー xvii

レーザーキャナー部 142, 181

レポート/リスト 149, 226

レポート両面プリント 229

連続プリント速度 270

連量 120

ロ

ローカル2

製品についてのお問い合わせは

IBM製品については、弊社営業担当員または弊社サービス技術員にお問い合わせください。

IBM 5591 カラー・レーザー・プリンター 取扱説明書

著作者 富士ゼロックス株式会社 / 日本アイ・ビー・エム株式会社
発行者 富士ゼロックス株式会社
ドキュメント プロダクト カンパニー
ヒューマンインターフェイス アンド デザイン開発部

発行年月 2001年 10月 第1版

P/N 55P1206

Printed in Japan



日本アイ・ビー・エム株式会社
〒106-8711
東京都港区六本木3-2-12

2001年 10月

P/N 55P1206